

公共の精神を尊び、「生きる力」を備えた 人間の育成のために

～ 「教育は国家百年の大計」である～

提 言

平成 25 年 3 月

富 山 経 済 同 友 会
教育問題委員会

目 次

1	はじめに	1
2	第7次委員会での実践と学びの状況	2
	（1）家庭でのふれあいの機会の創出	2
	（2）課外授業講師の派遣	2
	（3）教育関係者等との交流勉強会の実施	3
	（4）海外教育事情視察の実施	3
	（5）「教育問題の基本を学ぶ会」の開催	3
3	今後の取組み	5
	（1）ふるさと教育の推進	5
	（2）いじめ根絶に向けた道德教育の充実	5
	（3）教員の人間力・教育力向上の支援	6
	（4）家庭でのふれあい機会の創出	6
	（5）社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業等への積極的な支援	7
	（6）課外授業講師の派遣	7
	（7）教育関係者等との交流	8
	（8）その他本提言内容に沿った活動	8
4	おわりに	9
	参考資料	10
	（別紙1）これまでの取組み状況	10
	（別紙2）主な家庭教育支援活動	13
	（別紙3）課外授業講師の派遣実績	15
	（別紙4）教育関係者等との交流実績	17

公共の精神を尊び、「生きる力」を備えた人間の育成のために

～ 「教育は国家百年の大計」である～

1 はじめに

富山経済同友会では、「教育は国家百年の大計である」として、平成10年度に第1次の「教育問題委員会」を発足させ、種々の多面的な提言を行い、県内学校への出前授業をはじめとする具体的な実践活動が続けてきた（別紙1参照）。

なかでも「家庭教育を見なおす」を重点的なテーマとして、「家庭教育のあり方」について継続して活動に取り組んできた。核家族化、人口減少や少子高齢化、価値観の多様化、経済・社会のグローバル化等が進展する中で、次世代を担う子どもたちが心身ともにたくましく育っていくためには、家庭教育がすべての教育の原点であり、当会としても経済人の立場から積極的に取り組んでいくべきと考えたからである。

現在、わが国の教育においては、子どもの学習意欲や学力の低下、公德心の喪失、規範意識や社会性・協調性の希薄化、自立できない若者の増加、いじめや不登校の増加、「小1プロブレム」※や「中1ギャップ」※※といわれる学校不適応の問題、家庭や地域の教育力の低下など、様々な課題が指摘されている。

このような状況に対して、第7次教育問題委員会では、わが国の教育に係る基本的・基礎的な法律である教育基本法や教育課程の基準である新学習指導要領などについて改めて学び直し、原点に返ることにより見えてくるものがあるのではないかと考えた。その結果をふまえ、経済人としての立場から、教育を取り巻く喫緊の課題の解決に向けて、家庭、学校、地域、企業などが一体となって社会全体で教育の充実に取り組めるよう発信する。

平成18年に約60年ぶりに改正された教育基本法、その前文に追記された「公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成」を第7次教育問題委員会の基本理念として掲げ、地域の経済人としての取組みを発信していきたいと考え、本提言を行うものである。

※ 小学校に入学したばかりの小学校1年生が、集団行動が取れない、授業中に座ってられない、話を聞かないなどの状態が数か月継続する状態。

※※ 小学生から中学1年生になったことがきっかけとなり、学習や生活の変化になじめずに不登校となったり、いじめが増加したりするという現象。

2 第7次委員会での実践と学びの状況

平成 23 年度に新たなメンバーのもと、第 7 次教育問題委員会（平成 23～24 年度）を発足させ、第 6 次委員会の提言「『生きる力』を育む教育に向けて」の実行を中心に、次に掲げる活動に取り組んだ。

（１）家庭でのふれあいの機会の創出（別紙 2 参照）

会員企業が家庭教育支援に取り組むきっかけづくりとして、当委員会が平成 19 年度から設けている 8 月及び 9 月の「伝えよう“親心”推進月間」の一環として、これまでの提言でとりあげている次に掲げる主な家庭教育支援活動をリーフレットにとりまとめ、会員企業に配付するとともに、積極的な取組みを呼びかけた。

- ① 子どもの誕生日の残業禁止等の配慮
- ② 父親が積極的に育児参加できる休暇制度の整備
- ③ 子どもが産まれる従業員等への絵本贈呈
- ④ 従業員家族を対象とした「社内見学会」の実施
- ⑤ 小中学生を対象とした「事業所・工場内見学会」の受入協力
- ⑥ 従業員向け「企業内家庭教育講座」の開催
- ⑦ 「とやま家族ふれあいウィーク」におけるノー残業デー等の設定
- ⑧ 「とやま子育て応援団」への協力
- ⑨ 「元気とやま！子育て応援企業」への登録
- ⑩ 従業員への「わが家のきまり」づくりの呼びかけ
- ⑪ 従業員への「子どもたちに読んでほしい 1 冊」の紹介

（２）課外授業講師の派遣（別紙 3 参照）

平成 23 年度の派遣回数・人数は 14 回・14 名、平成 24 年度は 22 回・25 名となり、平成 13 年度に制度がスタートして以来、延べ 163 回・193 名の派遣となった。当委員会が提言した会員有志のボランティアによる活動は、平成 24 年度に過去最多の派遣回数・人数になるなど着実に派遣実績を積み重ね、県内の学校に広く周知されてきている。とりわけ、近年は中学生の「社会に学ぶ『14 歳の挑戦』事業」の事前学習として、要望が多くなっている。働くことの意義や魅力、進路選択などをテーマに、学校では教わることのない社会の実情を、企業経営者が実体験を交えて語る授業は、生徒はもとより教員にも大変好評を博している。

また、本制度のさらなる充実を図るため、講師経験者の魅力的な授業の組立てや子どもたちへのわかりやすい伝達手法、講師派遣先の学校側の意見や要望等を学ぶ「課外授業オリエンテーション」を実施した。

（３）教育関係者等との交流勉強会の実施（別紙４参照）

教育関係者を対象とした研修会等に講師を派遣するとともに、行政が設置する各種審議会委員にも多数就任するなど、積極的な交流活動を展開した。また、昨年及び本年３月には富山県小学校長会・富山県中学校長会との意見交換会を実施するなど、学校と企業との連携について意見を交わした。

（４）海外教育事情視察の実施（別途配布済み報告書参照）

当会では、平成 20 年度から「海外教育事情視察」を実施し、現役の教員に海外の先進的な教育現場等を当会会員とともに視察する機会を設けることで、富山県教育をリードする中核的教員として今後の教育実践に役立ててもらうとともに経済界と学校教育との交流、連携を図ることを目指している。

３回目となる平成 23 年度は、環境先進国と言われ、幼児期から成年まで環境教育が実践されているドイツ（フランクフルト）と義務教育段階で職業教育が実践されているスイス（チューリッヒ）を視察地を選び、参加希望教員を公募した。応募者の中から選考委員会が 7 名を選考し、県立高等学校の校長を団長に招き、当会の特別代表、当委員会の正副委員長等 6 名の総勢 14 名が 8 月 21 日～29 日の 9 日間にわたり現地を視察した。

（５）「教育問題の基本を学ぶ会」の開催

当委員会では、教育基本法等の教育関係の法令や制度をはじめ、教育関連施策の歴史的背景などを学ぶことを目的に、平成 24 年 2 月には委員会内に委員長を座長とする勉強会「教育問題の基本を学ぶ会」を発足させた。

副座長や外部の教育関係者を講師に、6 月には教育基本法改正に関する経緯や改正前後の比較等について、また、9 月には「ゆとり教育の変遷」について学び、次のとおり考察を深めた。

ア 昭和 22 年に制定された旧教育基本法では、「家庭教育及び勤労の場所その他社会において行われる教育」として、国及び地方公共団体によって「奨励されなければならない」と規定されているのみであった。

イ 平成 12 年 3 月に設置された教育改革国民会議は、同年 12 月に最終報告として「教育を変える 17 の提案」を内閣総理大臣に提出。教育基本法の改正と教育振興基本計画の策定の必要性が提言され、骨子は法改正に反映されている。

ウ 平成 18 年に改正された同法には、父母その他の保護者は子の教育について第一義的責任を有すると規定され、幼児教育についても「生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの」として新設された。

エ 学校教育における子どもたちの豊かな心や健やかな体の育成について、社会の大きな変化の中で家庭や地域の教育力が低下したことを踏まえた対応が十分ではなかったなどの課題がある。

この勉強会を通して、家庭教育はすべての教育の原点であるということを改めて強く認識することができた。また、家庭教育を核に、学校教育、社会教育の三本の柱の連携を強化することが重要であることを認識した。

3 今後の取組み

これまでの活動の成果を踏まえ、教育問題委員会としては、子どもたちの「生きる力」を育むため、教育の三本柱である家庭教育、学校教育及び社会教育の連携強化につながるよう、次のとおり活動を充実させて実施していきたい。

(1) ふるさと教育の推進

これからの青少年に求められるものは、ふるさとや国のことをよく知り、愛着と誇りを持って、グローバルな視野で世界に羽ばたく人間像である。ふるさとへの誇りや愛着は、ふるさとの自然、歴史・文化、郷土の先人の英知や業績などをしっかりと学び、ふるさとを見つめ直すことにより育まれるものであるから、家庭はもとより、学校、地域、企業など社会全体で積極的にふるさと教育に取り組む必要がある。

平成 24 年 7 月に富山県ふるさとの歌「ふるさとの空」が発表となった。当会では「富山県ふるさとの歌づくり実行委員会」の事務局を担当し、歌の制作、発表や普及活動に携わってきた。ふるさとを想い、ふるさとへの誇りや愛着を育むため、現在の「富山県民の歌」とともに、家庭、学校、地域、企業など県民一体となって歌い継ぎたい。

また、県民全体の文化遺産である「越中万葉」をはじめ、富山県ゆかりの作家や作品の魅力を幅広く発信し、誰もが気軽に「ふるさと文学」に親しみ、学ぶことができる「高志の国文学館」の活用を進めたい。同館には、小さな子どもたちが絵本を楽しめるスペースもあり、親子でも利用して欲しい。

企業としても従業員等に対して同館の利用を積極的に推奨していきたい。

また、冊子『ふるさととやまの人物ものがたりー郷土の先人 54 人の夢・志・挑戦ー』などを積極的に活用することが大変重要であり、学校での授業に取り入れることを求めたい。

(2) いじめ根絶へ向けた道徳教育の充実

児童生徒のいじめ問題は、全国的に小中高すべてにおいて喫緊の課題となっている。いじめは起こさせないことが最大の対策である。いじめは理由のいかんを問わず恥ずべきことで、決してやってはいけないこと、いじめは犯罪だと徹底して教え込むことが必要であり、幼児教育からの継続した取組みが効果的である。

また、早期の発見や安心して相談できることも極めて重要であることから、いじめの兆候に注意を払って欲しい。そして、子どもたちにはいじめに負けないたくま

しい心、いじめに対処する術を身に付け、いじめをはね返すことができる強い子どもになって欲しい。社会に出てからの環境に対応できる能力を涵養することも重要である。

そのためには、家庭において、人として正しい行いをする、社会のルールを守るなどの公德心をしっかりと躰けなければならない。

さらには、家庭での教育に加えて学校での道德教育の充実も大変重要である。平成 20 年に改訂された新学習指導要領において、「学校における道德教育は、道德の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行う」とされているが、道德の授業時間数は増加していない。質的な充実はもちろん必要であるが、是非とも時間数の増加を希望したい。教育改革国民会議報告「教育を変える 17 の提案」にあるように、「学校は道德を教えることをためらわない」ようにして欲しい。

また、いじめを早期に発見し、いじめを受けた子どもたちや親の心の傷を癒し、そのよき相談役として地域社会の関与を充実させていくことも肝要である。

（３）教員の人間力・教育力向上の支援

「教育は人なり」といわれるように、学校教育は教員の資質・能力に負うところが極めて大きく、優れた資質・能力を備えた魅力ある教員が必要とされている。

県では、教育実践に優れた授業力向上アドバイザーや退職教員等を活用し、熟達教員の持つ優れた教科指導や生徒指導など学校教育における指導上のノウハウについて研修等を通じて若手教員に伝承する「教師の学び支援塾事業」を実施している。

さらに、幅の広い教員の育成のためには、教育関係者との交流に加え、夏季休業期間等を利用した企業やＮＰＯにおける実地研修、優れた企業経営者等による講義の受講や当会が実施する海外教育事情視察への参加など、学校外と広く交わり、教員の視野を広げ、総合的な指導力や人間力の向上を図ることが望ましい。

（４）家庭でのふれあい機会の創出

企業として従業員が家族との時間を持てる雇用環境に配慮するとともに、企業経営者が従業員の親代わりとして家庭教育に関心を持ち“親心”を伝えることは、子育てに悩む親への側面的な支援はもとより、優秀な人材の育成、企業価値の創造にもつながる。従業員のワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、引き続き、次の取組みについて会員への周知に努めたい。

ア 子どもの誕生日に従業員を残業させない配慮

子どもの誕生日には、従業員を残業させない、または夜勤を免除するなど、子どもと一緒に誕生日を祝うことができるよう配慮し、家庭での家族のふれあいが深まるようにする

イ 育児のためにタイムリーに休暇が取れる職場環境の整備

父親である従業員が積極的に育児に参加できるよう、気兼ねなくタイムリーに休暇を請求・取得できるような職場環境を整備する

ウ 「とやま家族ふれあいウィーク」への協力

「とやま県民家庭の日」（毎月第3日曜日）を初日とする1週間は「とやま家族ふれあいウィーク」と定められている。企業は、「とやま家族ふれあいウィーク」中における「ノー残業デー」、「ノー残業ウィーク」の設定などを通じて、明るく楽しい家庭づくりを重点的に支援し、家庭、学校、職場、地域社会が一体となった県民総ぐるみの取組みに協力する

エ 「元気とやま！子育て応援企業」への登録

県では、仕事と子育てが両立できる職場環境づくりに積極的に取り組む企業を支援するため、「子育て応援企業」として登録し、当該企業の取組みを県のホームページに掲載するほか、様々な特典が付与される「元気とやま！子育て応援企業」登録制度を設けているが、企業として積極的に本制度への登録を行う

オ 「わが家のきまり」の推奨

躰に一貫性を持たせ、規範意識を身に付けさせるためには、家族でのルールが必要であり、現代版家訓ともいえるべき「わが家のきまり」の作成を奨励する

（5）社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業等への積極的な支援

中学生の「14歳の挑戦」や高校生のインターンシップの受入れ協力により、子どもの教育活動を積極的に支援していきたい。子どもの成長から学ぶことや気付くことが多く、受入れ企業としてもよい機会となる。

（6）課外授業講師の派遣

実施から11年を経て、学校からの要望も多く、学校関係者から好評を得ていることから、活動を取りまとめた『課外授業講師派遣制度 活動レポート』の県内小中学校、高等学校への配布などを通じて、本制度の積極的な活用を呼びかけていく。

また、引き続き「課外授業オリエンテーション」の実施や受講した子どもたちの感想文を講師へフィードバックすることなどを通じて、講師陣の研鑽に努め、本制度の質的な向上を図っていききたい。

さらに、課外授業の中で、「命の尊さ」「いじめは恥ずべきこと、犯罪であること」「人はひとりでは生きていけない」など子どもたちに語りかけていききたい。

学校は、本制度を積極的に活用し、子どもが卒業するまでに少なくとも1回は受講できるような機会を与えて欲しい。

家庭では、課外授業での子どもの新たな気づきに耳を傾けて、話し合っ欲しい。

(7) 教育関係者等との交流

今後とも、学校長などの管理職を対象とした研修会に講師を派遣するとともに、教育行政、学校、PTAやその他教育関係団体などとの積極的な交流を通じ、企業が求める人材像、学校と企業との連携や教育現場における企業の役割等について広く意見交換を進めたい。

(8) その他本提言内容に沿った活動

本提言の各種方策を実効性あるものとしていくため、様々な教育関係団体との連携を図りながら、勉強会の開催や各団体との交流活動等の取組みを検討し、実行に移していきたい。

4 おわりに

教育は国家百年の大計である。教育の再生なくしてわが国の経済や社会の永続的な維持・発展はなく、教育問題に取り組むことが最重要課題である。

富山経済同友会は、地域の経済人として、今後とも教育問題について考察し、家庭、学校、地域、企業など様々な教育関係団体と連携・協力し、まさしく社会全体が一体となって、本提言の各種方策の実現や教育の諸問題の解決に向けて積極的に行動していきたい。

この提言を契機として、未来を担う子どもたちが「公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた」人間、「生きる力」—確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の知・徳・体のバランスのとれた力—を備えた人間として、たくましく育っていくことを切に期待する。

これまでの取組み状況

区分 (委員長名) (活動期間)	提言タイトル	内 容
第 1 次委員会 (黒田 昭 委員長) (平成 10・11 年度)	家庭教育を見なおす ～子どもと共に親も学 ぶ～	○「家庭教育を見なおすフォーラム」の開催を提言 ○課外授業講師派遣制度の創設を提言 ○地域コミュニティー支援を提言 ○交流勉強会の実施を提言
第 2 次委員会 (谷道 昭 委員長) (平成 12・13・14 年度)	21 世紀にはばたく子ど もたちのために ～続・家庭教育を見な おす～	○家庭でのふれあいの機会の創出を提言 a 従業員やその配偶者の出産に際し、早い時期か ら子どもとの交流が深まるよう低年齢児用絵本を 贈ること b 子どもの誕生日には、従業員に残業をさせない、 又は夜勤を免除するなど子どもと一緒に誕生日を 祝うことができるようにすること c 父親である従業員が積極的に育児に参加できる よう気兼ねなくタイムリーに休暇を請求し、取得 できるような職場環境を整備すること ○教員の企業での研修機会の提供を提言 ○「家庭教育を見なおすフォーラム」の開催 平成 1 2 年度 3 回 平成 1 3 年度 1 回 平成 1 4 年度 1 回 ○課外授業講師派遣 平成 1 3 年度 6 校へ 1 1 名を派遣 平成 1 4 年度 5 校へ 7 名を派遣 ○交流勉強会の実施 平成 1 2 年度 1 回 平成 1 3 年度 2 回 平成 1 4 年度 5 回

区分 (委員長名) (活動期間)	提言タイトル	内 容
第 3 次委員会 (林 和夫 委員長) (平成 15・16 年度)	親として、企業人として ～続々・家庭教育を見 なおす～	○家庭でのふれあいの機会の創出 ・贈呈用絵本のリスト作成・提示 ・「家庭の日」の周知 ○「わが家のきまり」のすすめを提言 ○家庭教育を見なおすフォーラムの開催 平成 1 6 年度 1 回 ○課外授業講師の派遣 課外授業オリエンテーション開催を提案 平成 1 5 年度 1 0 校へ 1 4 名を派遣 平成 1 6 年度 1 2 校へ 1 5 名を派遣 ○交流勉強会の実施 平成 1 5 年度 4 回 平成 1 6 年度 1 0 回
第 4 次委員会 (高田 順一 委員長) (平成 17・18 年度)	伝えよう、“親心” ～家庭教育を見なおす IV～	○家庭でのふれあいの機会の創出 ・携帯版「わが家のきまり」カードの作成、配布 ・「子育て支援企業エントリー制度」登録推進 ○家庭教育を見なおすフォーラムの開催 平成 1 8 年度 1 回 ○「家庭教育アドバイス講座 in 企業」実施の推進 ○従業員家族を対象とした社内見学会の呼びかけ ○課外授業講師の派遣 平成 1 7 年度 2 0 校へ 2 4 名を派遣 平成 1 8 年度 1 4 校へ 2 0 名を派遣

区分 (委員長名) (活動期間)	提言タイトル	内 容
第 5 次委員会 (藤井 久丈 委員長) (平成 19・20 年度)	企業人はオヤジ役 ～家庭や学校での教育 を支えよう～	○家庭でのふれあいの機会の創出 ・「伝えよう“親心”推進月間」(8月及び9月)の 設定 ○仕事と子育ての両立に関する調査の実施 平成 19 年度 ○家庭教育に関するフォーラムの開催 平成 19 年度 1 回 ○課外授業講師の派遣 平成 19 年度 14 校へ 16 名を派遣 平成 20 年度 16 校へ 16 名を派遣 ○海外教育事情視察の実施 平成 20 年度 フィンランド、デンマーク
第 6 次委員会 (大橋 聡司 委員長) (平成 21・22 年度)	「生きる力」を育む教 育に向けて ～日本の国力の源泉 “公德心”の復活を目 指して～	○家庭でのふれあいの機会の創出 ・「伝えよう“親心”推進月間」(8月及び9月)の 設定 ○「家庭教育サポート宣言」の発表 平成 21 年度 ○「仕事と家庭の両立支援推進シンポジウム」の開催 平成 21 年度 ○「子どもたちに読んでほしい 1 冊」の募集・冊子と りまとめ 33 冊 ○課外授業講師の派遣 平成 21 年度 14 校へ 14 名を派遣 平成 22 年度 16 校へ 17 名を派遣 ○海外教育事情視察の実施 平成 21 年度 中国(瀋陽、上海)、台湾(台北)

取り組んでいますか？企業での家庭教育支援

**8月～9月は、富山経済同友会の
「伝えよう、“親心”推進月間」です。**

富山経済同友会では、教育こそがわが国の経済、社会の永続的な維持、発展にとって、もっとも重要な課題であると考え、平成 10 年度に第 1 次の教育問題委員会を発足させ、県内学校への出前事業をはじめ、多面的な提言、活動を行ってきました。

なかでも、「家庭教育を見なおす」を重点的なテーマのひとつとして、種々の提言を行い具体的な活動を実践しております。

平成 23 年 3 月に第 6 次委員会が発表した提言「『生きる力』を育む教育に向けて」では、親や家族に対して

- ① 「わが家のきまり」の奨励
- ② 親子の共同作業や家族の団らんなどで家族の絆を深める
- ③ 読書の奨励
- ④ 勤勉であること、努力することの大切さを身をもって示す
- ⑤ 公德心を教え込む（父母・祖父母を尊ぶ子育てを行う）
- ⑥ 学校の応援団としての自覚と親としての責任を果たす
- ⑦ 家庭における父親の役割を考える

などの具体的な方策（提言）を行っています。

このたび、教育問題委員会が平成 19 年度から設けている「伝えよう、“親心”推進月間」の一環として、これまでの提言で取組みを呼びかけている主な家庭教育支援活動をリーフレットにとりまとめましたので、会員各位には、推進月間を契機に、職場における家庭教育支援の充実・強化を図っていただきますようお願いします。

なお、巻末のアンケート調査にご協力くださいますよう併せてお願いいたします。

平成 24 年 8 月

富山経済同友会
教育問題委員会
委員長 高見 貞徳

「低年齢児用絵本の贈呈」用リストについて

子どもは、乳幼児期からの親の深い愛情によって人への信頼感、豊かな情操、他人に対するおもいやり等の基本的な倫理観が醸成されていくといわれています。また、子どもとどう接していいかわからない親が増え、児童虐待の原因の一つともいわれています。一方、読書は豊かな情操の涵養に効果があり、小さい頃から本に親しむ習慣を作ることが大切です。したがって、親が子どもに絵本を読み聞かせることは、非常に大切なことです。

こうしたことから、富山経済同友会では、教育問題委員会が中心となって、会員自らその従業員等の出産に際し、絵本を贈ることによって、親が子どもに絵本を読み聞かせる機会をつくり、親子のふれあいを深める取り組みを実践することを提言してきました。

そして、この取り組みを強化するため、この度、「低年齢児用絵本の贈呈」用リストを作成しました。ぜひ、ご活用ください。

題名	作者	出版社名	出版年月	税込価格
こんにはは くまぐんのおかちゃんえほん 1	ささきようこ／作・絵	ポプラ社	2003年4月	609円
ぐるぐる 赤ちゃん絵本シリーズ	鈴木亜弥／絵 安井智草／文	新風舎	2004年11月	1,050円
赤ちゃんのためのかたちの絵本	桑原伸之／作	あすなろ 書房	2004年11月	1,260円
くるくるくる	桑原伸之／作	あすなろ 書房	2005年5月	1,260円
じゃあじゃあびりびり 改訂 まついのりこあかちゃんのほん	まついのりこ／作・絵	偕成社	2005年9月	630円
はじめてのずかん 1 どうぶつ とり むし しょくぶつ くだもの やさしい Baby books	たしろたく／作	偕成社	2002年9月	924円
でてこいでてこい 0. 1. 2. えほん	はやしあきこ／作	福音館 書店	1998年4月	600円
いろいろなどうぶつえん 0. 1. 2. えほん	パトリック・ラロッシュ／作	福音館 書店	1999年5月	600円
ねこがいっぱい 福音館 あかちゃんの絵本	グレース・スカル／作 やぶきみちこ／訳	福音館 書店	1986年9月	735円
はじめてのおかちゃんえほん どうぶつ1 はじめてのおかちゃんえほん	荒川静恵／絵 古藤ゆず／文	学研	2000年2月	525円

「わが家のきまり」のすすめ

近年、青少年問題の多発にともない家庭教育が重要視されています。そこで、富山経済同友会 教育問題委員会では、従来までの家庭教育のあり方を見直すため、現代版家訓ともいうべき「わが家のきまり」の作成とその実践を提唱しました。

これは、家庭で親子のふれあいの機会を多くし、子どものしつけに一貫性をもたせ、それを身につけさせるための家庭のルールづくりです。

ぜひ、次に掲げた例を参考にして、皆さんの家庭で「わが家のきまり」を作成し、取り組んでみてください。

富山経済同友会版「わが家のきまり」(例)

- 第1条
- 朝起きたら「おはよう」の挨拶を交わそう
- 第2条
- 家族団らんの食事を楽しもう
- 第3条
- 「ありがとう」を家族でも言い合おう
- 第4条
- 近所との家族づきあいを大切にしよう
- 第5条
- お年寄りを尊敬しよう
- 第6条
- 家族で地域活動に積極的に参加しよう
- 第7条
- 家族でその日のことを話し合おう
- 第8条
- 一日は「おやすみ」で終わろう

小・中学校生徒対象「事業所・工場内見学会」受入協力企業

富山経済同友会教育問題委員会では、「伝えよう、“親心”運動」の一環として、地域との触れ合いを通じた次世代の人材育成を推進するため、会員企業に対して、小・中学校生徒を対象とした「事業所・工場内見学会」の受入協力を呼びかけたところ、下記19企業から賛同をいただきました。

なお、お申し込みに関するお問い合わせは事務局までお願いいたします。

(五十音順)

N o .	企業名	受入人数 (人)
1	(株)アーキジオ	2
2	(株)アイザック・ユー	30
3	朝日建設(株)	2
4	(株)インテックホールディングス	30
5	大高建設(株)	20
6	カナヤママシンアリー(株)	30
7	(株)コージン	20
8	コーセル(株)	30
9	大成建設(株)	20
10	立山製紙(株)	30
11	中越バス販売(株)	5
12	(株)チューリップテレビ	20
13	とうざわ印刷工芸(株)	10
14	藤堂工業(株)	10
15	富山日産自動車(株)	20
16	日本海ガス(株)	80
17	日の出屋製菓産業(株)	40
18	(財)北陸予防医学協会	12
19	(株)若林商店	4

富山経済同友会の会員が薦める「子どもたちに読んでもほしい1冊」リストについて

平成22年3月
富山経済同友会は、平成10年度に教育問題委員会を設置して以来、「家庭教育」に焦点を当て、具体的実践活動に取り組んでまいりました。
平成21年度から始まった第6次委員会では、家庭教育における「読書の力」に注目しました。本を読むことで知識や感動が得られるとともに、感想を話し合うことと人とのコミュニケーション能力が増かれると言われています。また、読が楽しそうに本を読む姿を見ることが、子どもたちに読書の楽しさが伝わることも考えられます。このたび、小・中学生にぜひ読んでほしい本を会員の皆さんにお尋ねしたところ、33冊の本をご推薦いただきましたので、それらを取りまとめでご紹介させていただきます。
会員各位におかれては、従業員の皆さんに本書をご紹介いただくことにより、読書をつなげた親子のコミュニケーションの活性化に一役買っていただければ幸いです。

N o .	区分	題名	著者	出版社
1	絵本	100万回生きたねこ	佐野 洋子／作・絵	講談社
2	絵本	葉っぱのフレディ	レオ・バスカーリア／作 みらい なな／訳 島田 光雄／絵	蔵書館
3	絵本	木を植えた男	ジャン・ジオノ／作 フレデリック・バック／絵 寺岡 義／訳	あすなろ書房
4	読み物	グリム童話集	W. グリム、J. グリム	岩波書店ほか
5	読み物	夢を追いもとめて	衆小学校教育研究会／執筆	富山県ひとづくり財団
6	絵本	父と娘の日本横断 ～300km・自転車の旅～	山口 理／作 岡本 順／絵	ポプラ社
7	絵本	リトル・ウイング	吉富 多美／作 こばやし ゆきこ／絵	金の星社
8	読み物	杜子春	芥川 龍之介	講談社ほか
9	読み物	一房の葡萄	有島 武郎	岩波書店ほか
10	読み物	きまぐれロボット	星 新一	理論社ほか
11	読み物	浜に立つ女たち	大成 勝代	米蔵の会
12	読み物	杉浦千畝物語 一命のびざをありがとう	杉浦幸子・杉浦弘樹	金の星社
13	読み物	21世紀に生きる君たちへ	司馬 遼太郎	世界文化社
14	読み物	シートン動物記	アーネスト・I・シートン	集英社
15	読み物	赤毛のアン	モンゴメリー／作 村岡 花子／訳	講談社
16	読み物	ヨハネスブルクへの旅	ビヴァリー・ナイドゥ／作 もりうち すみこ／訳 橋本 礼奈／図	さくら書房
17	読み物	モモ	ミヒヤエル・エンデ／作 大島 かおり／訳	岩波書店
18	漫画	スラムダンク	井上 雄虎	集英社
19	知識	郷土学習教材		市町村教育委員会ほか
20	知識	13歳のハローワーク	村上 龍	幻冬舎
21	詩	島崎藤村詩集	島崎 藤村	角川書店ほか
22	詩	かぎりなくやさしい花々	星野 富広	偕成社
23	読み物	次郎物語	下村 湖人	新潮社
24	読み物	夏の庭-The Friends	湯本 喜樹実	徳間書店
25	読み物	代表的日本人	内村 鑑三／作 鈴木 範久など／訳	岩波書店ほか
26	読み物	君の思いは必ず実現する	稲盛 和夫	財界研究所
27	読み物	生き方 一人間として一番大切なこと	稲盛 和夫	サンマーク出版
28	読み物	越中人譚	岡田編集写真事務所／編	チューリップテレビ
29	読み物	経営者、15歳に仕事を教える	北城 悟太郎	丸善
30	読み物	現代人の伝記(1) (2)	『致知』編集部	致知出版社
31	読み物	国をつくるという仕事	西沢 美津子	英治出版
32	読み物	46年目の光	ロバート・カーン／作 池村 千秋／訳	N T T出版
33	読み物	小さな国の大きな奇跡 ～キューバ人が心豊かに暮らす理由～	吉田 沙由里 アレイダ・ゲバラ	WAVE出版

課外授業講師の派遣実績

※敬称略。役職名は派遣当時のもの

【平成23年度】

No.	年 月 日	学 校 名	対 象	講 師 名	内 容
1	H23. 4. 19(火)	南砺市立 井口中学校	全学年(40名)	片山 浩一 (片山商事(株)代表)	特別講演 (14:20～15:00) 「将来の夢」
2	H23. 6. 3(金)	氷見市立 西部中学校	2 学年(32名)	林 和夫 (朝日建設(株)社長)	特別講演 (14:30～15:20) 「学ぶこと、働くこと」
3	H23. 6. 21(火)	黒部市立 宇奈月中学校	2 学年(43名)	大橋 聡司 (大高建設(株)社長)	特別講演 (14:00～15:00) 「今、何をすべきか。～「社会に学ぶ14歳の挑 戦」に向けて～」
4	H23. 7. 15(金)	滑川市立 滑川中学校	全学年(667名)	飴 久晴 (コーセル(株)会長)	特別講演 (14:00～15:00) 「夢」
5	H23. 9. 30(金)	黒部市立 高志野中学校	2 学年(73名)	本川 祐治郎 (株ブランドットコム代表取締役・経営 士・ファシリテーター)	特別講演 (13:30～14:30) 「働くことの意義と心構え」
6	H23. 11. 9(水)	富山市立 和合中学校	全学年(370名)	新田 八朗 (日本海ガス(株)社長)	特別講演 (13:45～15:10) 「人生は一生勉強である」
7	H23. 11. 22(火)	富山県立 水橋高等学校	1 学年(160名)	山野 昌道 (株スカイインテック社長)	特別講演 (13:20～14:10) 「人生を楽しくする3つのコツ」
8	H23. 12. 10(土)	富山国際大学 付属高等学校	1・2 学年(100名)	若林 啓介 (株若林商店社長)	特別講演 (9:00～10:30) 「Lessons I Have Learned」
9	H23. 12. 10(土)	富山県立 富山南高等学校	1 学年(200名)	谷中 康弘 (株神戸製鋼所北陸支店長)	特別講演 (9:00～10:00) 「今に『ベスト』を」
10	H23. 12. 12(月)	富山県立 呉羽高等学校	1 学年(190名)	中尾 哲雄 (株インテック会長)	特別講演 (13:20～14:10) 「君たちの未来」
11	H24. 1. 27(金)	滑川市立 早月中学校	全学年(359名)	中尾 哲雄 (株インテック会長)	特別講演 (14:00～15:00) 「ありがとう」
12	H24. 2. 15(水)	富山大学人間発達科学 部附属小学校	5・6 学年(159名)	牧田 和樹 (株牧田組社長)	特別講演 (14:00～15:00) 「よりよく生きる」
13	H24. 2. 29(水)	黒部市立 生地小学校	6 学年(33名)	大橋 聡司 (大高建設(株)社長)	特別講演 (13:55～14:40) 「夢をもつこと」
14	H24. 3. 1(木)	富山市立 岩瀬小学校	全学年(164名)	中尾 哲雄 (株インテック会長)	特別講演 (10:10～11:00) 「ありがとう」

14校14名

【平成24年度】

No.	年 月 日	学 校 名	対 象	講 師 名	内 容
1	H24. 6. 19(火)	砺波市立 庄川中学校	2 学年(54名)	川合 声一 (日の出屋製菓産業(株)社長)	特別講演 (9:40～10:30) 「働く魅力」
2	H24. 6. 20(水)	高岡市立 平米小学校	全学年(129名) 保護者	高見 貞徳 (株アイベック会長)	特別講演 (14:45～15:30) 「夢に向かって努力する大切さ」
3	H24. 6. 22(金)	黒部市立 宇奈月中学校	2 学年(50名)	市森 友明 (株新日本コンサルタント社長)	特別講演 (15:00～16:00) 「今、何をすべきか。-「社会に学ぶ『14歳の挑 戦』」に向けて-」
4	H24. 7. 4(水)	黒部市立 鷹施中学校	全学年(247名)	中尾 哲雄 (株インテック最高経営責任者)	特別講演 (14:50～15:40) 「ありがとう」
5	H24. 7. 13(金)	射水市立 大門中学校	1 学年(246名)	本川 祐治郎 (株ブランドットコム代表取締役・経営 士・ファシリテーター)	特別講演 (13:40～14:30) 「<はたらく>ことの意義」
6	H24. 7. 20(金)	高岡市立 戸出中学校	2 学年(121名)	山野 昌道 (株スカイインテック社長)	特別講演 (10:45～11:35) 「人生を楽しく生きる3つのコツ」
7	H24. 7. 23(月)	射水市立 奈古中学校	2 学年(61名)	牧田 和樹 (株牧田組社長)	特別講演 (13:40～14:30) 「よりよく生きる ～学ぶこと、働くこと～」

No.	年 月 日	学 校 名	対 象	講 師 名	内 容
8	H24. 9. 12(水)	富山県立 八尾高等学校	2 学年(160名)	中尾 哲雄 (㈱インテック最高経営責任者)	特別講演 (15:15～16:05) 「君たちの未来」
9	H24. 9. 19(水)	黒部市立 高志野中学校	2 学年(109名)	四十物 直之 (㈱四十物昆布社長)	特別講演 (13:50～15:00) 「『働くこととは？』一皆さんに伝えたいこと」
10	H24. 9. 19(水)	立山町立 雄山中学校	2 学年(271名)	浦山 哲郎 ((学) 浦山学園理事長)	特別講演 (14:20～15:20) 「『社会に出て働く』ということ」
11	H24. 9. 21(金)	富山国際大学 附属高等学校	全学年(810名)	牧田 和樹 (㈱牧田組社長)	特別講演 (10:10～11:10) 「よりよく生きる」
12	H24. 9. 29(土)	富山県立 南砺福野高等学校	2 学年普通科 (198名)	佐子 裕厚 (日本銀行富山事務所事務所長)	特別講演 (10:30～11:50) 「経済の仕組みについて知ろう！」
13	H24. 10. 6(土)	富山県立 魚津高等学校	1 学年(199名)	新田 八朗 (日本海ガス㈱社長)	特別講演 (9:00～10:00) 「これからの日本を担うみなさんへ」
14	H24. 10. 19(金)	高岡市立 伏木中学校	2 学年(126名)	本川 祐治郎 (㈱ブランドットコム代表取締役・経営 士・ファシリテーター)	特別講演 (13:40～14:30) 「働くことの意義と心構え」
15	H24. 10. 25(木)	富山市立 老田小学校	4～6学年(94名)	山崎 義明 (㈱山崎製作所社長)	特別講演 (10:50～11:50) 「夢といっしょに歩いていこう」
16	H24. 10. 26(金)	富山県立 大門高等学校	1・2学年(240名)	大橋 聡司 (大高建設㈱社長)	特別講演 (15:30～16:20) 「夢を持つ」
17	H24. 11. 9(金)	富山市立 南部中学校	全学年(531名)	林 和夫 (朝日建設㈱社長)	特別講演 (13:50～14:40) 「学ぶこと 働くこと」
18	H24. 12. 8(土)	富山県立 富山南高等学校	1 学年(240名)	高瀬 幸忠 (㈱インテック執行役員北陸地区本部長)	特別講演 (9:00～10:00) 「ご縁に感謝」
19	H25. 2. 20(水)	富山市立 速星中学校	1 学年(299名)	今井 壽子 (㈲ゼフィール代表取締役)	特別講演 (13:35～14:25) 「薬都・富山を薬草いっぱいにしたいー安心して 暮せる平和な世界を夢みながらー」
				川合 紀子 (㈲ステップアップ代表取締役)	特別講演 (13:35～14:25) 「『生き方を学ぶ』～”今できること” から始め よう～」
				高見 貞徳 (㈱アイベック会長)	特別講演 (13:35～14:25) 「今、中学生として身につけておくこと」
				遊道 義則 (㈱ユニオンランチ社長)	特別講演 (13:35～14:25) 「『言葉の力に気付こうよ！』一全てはコミュニ ケーションから始まるー」
20	H25. 3. 1(金)	富山市立 岩瀬小学校	全学年(157名) 保護者等	高見 貞徳 (㈱アイベック会長)	特別講演 (10:10～11:00) 「夢に向かって！」
21	H25. 3. 5(火)	富山県立 呉羽高等学校	1 学年(229名)	新田 八朗 (日本海ガス㈱社長)	特別講演 (11:50～12:40) 「これからの日本を担うみなさんへ」
22	H25. 3. 8(金)	黒部市立 生地小学校	6 学年(35名)	林 和夫 (朝日建設㈱社長)	特別講演 (10:45～11:30) 「夢をもって」

22校25名

教育関係者等との交流実績

【平成23年度】

※敬称略

	日 時	場 所	交流の内容	出席者等
1	H23. 4. 11(月) 10:20～11:35	富山市水橋ふるさと会館	富山県東部教育事務所管内小・中学校長研修会	松波 孝之
2	H23. 4. 11(月) 10:20～11:20	ふくおか総合文化センター	富山県西部教育事務所管内小・中学校長研修会	前田 圭一
3	H23. 5. 30(月) 16:30～18:00	富山県警察本部会議室	「女性が輝く元気企業とやま賞」審査委員会	前田 圭一
4	H23. 5. 31(火) 15:30～18:00	富山県民会館	とやまの県立学校元気創造事業審査会	高見 貞徳
5	H23. 6. 2(木) 13:30～15:45	富山県民会館	第1回富山県互いに支える社会創造事業運営委員会	羽根 由
6	H23. 7. 4(月) 11:00～12:00	富山県民会館	教師力向上支援事業選考委員会	高野 二郎
7	H23. 7. 7(木) 15:00～16:00	富山市立速星公民館	平成23年度富山市小学校教務主任会	高見 貞徳
8	H23. 7. 26(火) 15:00～16:30	富山県民会館	第2回富山県互いに支える社会創造事業運営委員会	羽根 由
9	H23. 8. 3(水) 8:30～ 9:30	株コージン	企業内家庭教育講座	株コージン
10	H23. 8. 9(火) 14:00～15:30	富山県民会館	元気とやま！仕事と子育て両立支援企業選考委員会	高見 貞徳
11	H23. 8. 12(金) 18:30～20:30	富山県民会館	富山県自殺対策推進協議会ワーキンググループ	多賀 善治
12	H23. 8. 30(火) 14:00～16:00	富山県民会館	富山県総合計画審議会未来部会	高木 繁雄（部会長） 中井 敏郎
13	H23. 9. 6(火) 14:00～15:30	富山県民会館	第3回富山県互いに支える社会創造事業運営委員会	羽根 由
14	H23. 9. 27(火) 15:00～16:30	富山市芸術文化ホール	第39回東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会富山大会	四十物 直之
15	H23. 10. 4(火) 14:00～16:00	富山県庁	第1回富山県教員養成課程等検討会	若林 啓介（座長） 大橋 聡司
16	H23. 10. 5(水) 15:30～17:00	富山県民会館	第5回富山県子育て支援・少子化対策県民会議	高木 繁雄（会長）
17	H23. 11. 15(火) 10:00～11:00	株アイペック	企業内家庭教育講座	株アイペック
18	H24. 1. 14(土) 12:30～13:30	株ユニゾーン	企業内家庭教育講座	株ユニゾーン
19	H24. 1. 27(金) 9:50～11:10	富山県総合教育センター	平成23年度第16回指導主事等研修会	大橋 聡司
20	H24. 2. 3(金) 17:40～18:30	関西電力(株)北陸支社	企業内家庭教育講座	関西電力(株)北陸支社
21	H24. 2. 6(月) 18:15～19:15	株北陸銀行	企業内家庭教育講座	株北陸銀行
22	H24. 2. 7(火) 13:30～15:30	富山県民会館	富山県総合計画審議会未来部会	高木 繁雄（部会長）
23	H24. 2. 9(木) 13:30～16:30	富山県民会館	第4回富山県互いに支える社会創造事業運営委員会	羽根 由

	日 時	場 所	交流の内容	出席者等
24	H24. 2.13(月) 15:00～16:30	富山県民会館	教師力向上支援事業報告会	高野 二郎
25	H24. 2.14(火) 7:45～ 8:30	(株)ファインネクス本社	企業内家庭教育講座	(株)ファインネクス本社
26	H24. 2.15(水) 7:45～ 8:30	(株)ファインネクス上条工場	企業内家庭教育講座	(株)ファインネクス上条工場
27	H24. 3. 1(木) 17:00～20:00	名鉄トヤマホテル	富山県小学校長会・中学校長会との意見交換会	教育問題委員会委員
28	H24. 3. 7(水) 17:10～18:10	アイティオ(株)	企業内家庭教育講座	アイティオ(株)
29	H24. 3.19(月) 17:45～18:45	北陸コカ・コーラボトリング(株)	企業内家庭教育講座	北陸コカ・コーラボトリング(株)

【平成24年度】

	日 時	場 所	交流の内容	出席者等
1	H24. 5. 9(水) 10:00～12:00	富山県民会館	第1回富山県互いに支える社会創造事業運営委員会	羽根 由
2	H24. 5.30(水) 13:30～14:30	富山県民会館	第1回富山県ふるさと教育推進協議会	中尾 哲雄 (会長) 若林 忠嗣
3	H23. 6. 4(月) 17:00～18:30	富山県議会会議室	「女性が輝く元気企業とやま賞」審査委員会	高野 二郎
4	H24. 6.27(水) 10:30～12:00	富山県民会館	富山県ふるさと教育推進協議会第1回置県130年記念事業検討部会	若林 忠嗣 川岸 宏 羽根 由
5	H24. 7. 2(月) 14:00～15:30	富山県民会館	第2回富山県互いに支える社会創造事業運営委員会	羽根 由
6	H24. 7. 9(月) 13:30～14:30	富山県民会館	教師力向上支援事業選考委員会	高見 貞徳
7	H24. 7.10(火) 10:00～11:15	富山県民会館	第1回高等特別支援学校校名検討会	大橋 聡司
8	H24. 7.17(火) 14:30～15:30	(株)アイペック	とやまの県立学校及び特別支援学校元気創造事業審査会	高見 貞徳
9	H24. 7.31(火) 14:00～15:30	富山県民会館	元気とやま！仕事と子育て両立支援企業選考委員会	高見 貞徳
10	H24. 8. 1(水) 14:30～16:00	アイザック小杉文化ホール	平成24年度射水市教育講演会	新田 八朗
11	H24. 8. 2(木) 14:00～15:10	富山県庁	第2回高等特別支援学校校名検討会	大橋 聡司
12	H24. 8. 3(金) 9:00～10:30	小矢部市総合会館	平成24年度小矢部市現職教育研修会	牧田 和樹
13	H24. 8. 6(月) 16:00～17:40	富山県民会館	富山県自殺対策推進協議会ワーキンググループ	高見 貞徳
14	H24. 8. 7(火) 14:00～15:30	滑川市立早月中学校	平成24年度滑川市教育セミナー	大橋 聡司
15	H24. 8.10(金) 14:00～15:00	高志会館	富山市中学校長会	中尾 哲雄
16	H24. 8.27(月) 15:00～16:30	富山県民会館	富山県ふるさと教育推進協議会第2回置県130年記念事業検討部会	若林 忠嗣 川岸 宏
17	H24. 8.27(月) 15:00～16:30	富山県民会館	第3回富山県互いに支える社会創造事業運営委員会	羽根 由

	日 時	場 所	交流の内容	出席者等
18	H24. 8. 31(金) 10:00～11:30	富山県民会館	第2回富山県ふるさと教育推進協議会	中尾 哲雄（会長） 若林 忠嗣
19	H24. 9. 3(月) 10:00～11:30	富山県民会館	第6回富山県子育て支援・少子化対策県民会議	高木 繁雄（同上） 荒井 公夫
20	H24. 10. 16(火) 10:00～12:00	富山県民会館	第4回富山県互いに支える社会創造事業運営委員会	羽根 由
21	H24. 11. 7(水) 13:30～15:00	富山県民会館	富山県ふるさと教育推進協議会第3回置県130年記念事業検討部会	川岸 宏
22	H24. 11. 9(金) 14:30～16:00	富山県民会館	第3回富山県ふるさと教育推進協議会	中尾 哲雄（同上） 若林 忠嗣
23	H25. 1. 16(水) 14:00～15:00	富山市立速星公民館	富山市小学校教頭会全体研修会	林 和夫
24	H25. 1. 24(木) 13:30～15:00	富山県庁	第2回富山県教員養成課程等検討会	若林 啓介（座長） 大橋 聡司
25	H25. 1. 28(月) 10:40～12:00	富山県総合教育センター	平成24年度第13回指導主事等研修会	若林 啓介
26	H25. 1. 28(月) 14:00～16:00	富山県民会館	第2回富山県教育振興基本計画(仮称)策定委員会	高木 繁雄
27	H25. 2. 8(金) 15:30～16:30	富山県民会館	教師力向上支援事業報告会	高見 貞徳
28	H25. 2. 12(火) 7:45～ 8:20	(株)ファインネクス本社	企業内家庭教育講座	(株)ファインネクス本社
29	H25. 2. 13(水) 7:45～ 8:25	(株)ファインネクス上条工場	企業内家庭教育講座	(株)ファインネクス上条工場
30	H25. 2. 14(木) 8:30～ 9:30	(株)コージン	企業内家庭教育講座	(株)コージン
31	H25. 3. 6(水) 17:00～20:30	オーケカパール・ホテル富山	富山県小学校長会・中学校長会との意見交換会	教育問題委員会委員
32	H25. 3. 8(金) 17:45～18:45	北陸コカ・コーラボトリング(株)	企業内家庭教育講座	北陸コカ・コーラボトリング(株)
33	H25. 3. 28(木) 13:30～15:00	富山県庁	第3回富山県教員養成課程等検討会	若林 啓介（同上） 大橋 聡司

富山経済同友会 教育問題委員会(平成23～24年度)

(五十音順)

委員会役職	氏名	会社名	役職
委員長	高見 貞徳	(株)アイペック	取締役会長
副委員長	伊東 潤一郎	アイティオ(株)	取締役社長
副委員長	浦山 哲郎	(学)浦山学園	理事長
副委員長	高野 二郎	タカノ建設(株)	取締役社長
副委員長	藤井 裕久	(株)藤井産業	取締役会長
副委員長	毛利 一朗	(株)毛利地所	取締役社長
副委員長	山崎 義明	(株)山崎製作所	取締役社長
委員	四十物 直之	(株)四十物昆布	取締役社長
委員	青山 嵩	青山嵩法律事務所	所長
委員	石坂 兼人	石坂建設(株)	取締役社長
委員	石橋 隆二	(株)石橋	代表取締役
委員	今井 壽子	(有)ゼフィール	代表取締役
委員	大橋 聡司	大高建設(株)	取締役社長
委員	金谷 幸則	(株)金谷ホールディングカンパニー	取締役社長
委員	川合 紀子	(有)ステップアップ	代表取締役
委員	小柴 順子	(株)コージン	取締役会長
委員	小西 広一	(株)ミタホーム	代表取締役
委員	笹原 正徳	(株)和楽美容室	専務取締役
委員	佐子 裕厚	日本銀行富山事務所	事務所長
委員	島 竜彦	島石油(株)	取締役社長
委員	高瀬 幸忠	(株)インテック	執行役員北陸地区本部長
委員	鷹西 賢一	北陸電機製造(株)	取締役社長
委員	寺崎 敏治	富山製紙(株)	取締役社長
委員	中村 秀一	(株)ユメック	代表取締役
委員	萩原 正剛	(株)スリー・ティ	取締役会長
委員	林 幹翁	全日本空輸(株)	富山支店長
委員	福田 可也	(株)クレハロ	代表取締役
委員	藤井 久丈	医療法人社団藤聖会	理事長
委員	堀田 信一	日本海ツーリスト(株)	取締役社長
委員	前田 圭一	前田薬品工業(株)	取締役社長
委員	増山 一雄	増山電業(株)	代表取締役
委員	松田 登	ファインネクス(株)	取締役社長
委員	松波 孝之	(株)ケーブルテレビ富山	取締役社長
委員	山口 純平	山口郵便通送(株)	取締役社長
委員	山崎 健太郎	(株)日本政策投資銀行	富山事務所長
委員	山田 秀夫	(株)山田写真製版所	代表取締役
委員	山地 清	富山信用金庫	理事長
委員	山野 昌道	(株)スカイインテック	代表取締役専務
委員	横山 哲夫	北日本放送(株)	取締役社長
委員	米屋 保雄	(株)キタイチ	代表取締役
委員	綿谷 雅代	ワタヤ自動車(株)	取締役社長
担当役員	若林 啓介	(株)若林商店	取締役社長

(以上 42名:平成25年2月21日現在)

富 山 経 済 同 友 会

〒930-0856 富山市牛島新町5-5

TEL (076) 444-0660

FAX (076) 444-0661

E-mail doyukai@po.hitwave.or.jp

ホームページ <http://www.doyukai.org/>